

卓 話

平成 14 年 8 月 20 日

講師 岐阜市長 細江 茂光 様

古来、岐阜周辺からは多くの文化人、芸術家を輩出しております。現代においても、岐阜出身で世界に通用する芸術家、スポーツ選手が多く活躍しておられます。そういう人達が岐阜を元気にしてくれる牽引力となってくれているのではないのでしょうか。先日も長良川畔でコンサートをされた「喜多郎」さん、彼は岐阜出身ではありませんが長良川を愛し、岐阜を愛する世界的な音楽家です。そんな人達といっしょになって、鵜飼を要とした岐阜独自の素晴らしい文化伝統をさらに盛りたてて行きたいと考えています。また、岐阜は落語発祥の地ともいわれていますが、そうした文化、伝統に加え、自然環境にも素晴らしいものがあります。岐阜の環境を守っていくには市民の皆さんの協力と意志が不可欠であるのは言うまでもありません。



今は、とにかく岐阜の素晴らしさを再認識し悲観的にならず何ごとにも前向きに対処していきたいと思っています。美濃は古くは小さい統括区に分けられ、その歴史的な背景から自己中心的な性格を受けついでいるのかもしれませんが、これから地方分権の時代、自立した地方自治、都市間競争に打ち勝つ自治体を市民の皆さんと模索していかなければなりません。また、まちづくりについては、岐阜市の財政事情を勘案しつつ、住宅地としての性格も認めながらすすめています。やはり、中心となるのは駅前開発です。さらに駅前と柳ヶ瀬をむすぶ人の流れを作り出せる形を考えていきたいと思っています。もちろん長良川畔に関連した再開発プロムナード計画もすすんでおります。

岐阜市が魅力あるまちになるためには、そこに住む市民そのものが観光資源となるような人とまちが一体化した姿を目指していきたいものだと思います。そんな素晴らしい岐阜市になれるよう、行政と市民がいっしょになって歩いていければと考えておりますので、ご協力をお願い致します。